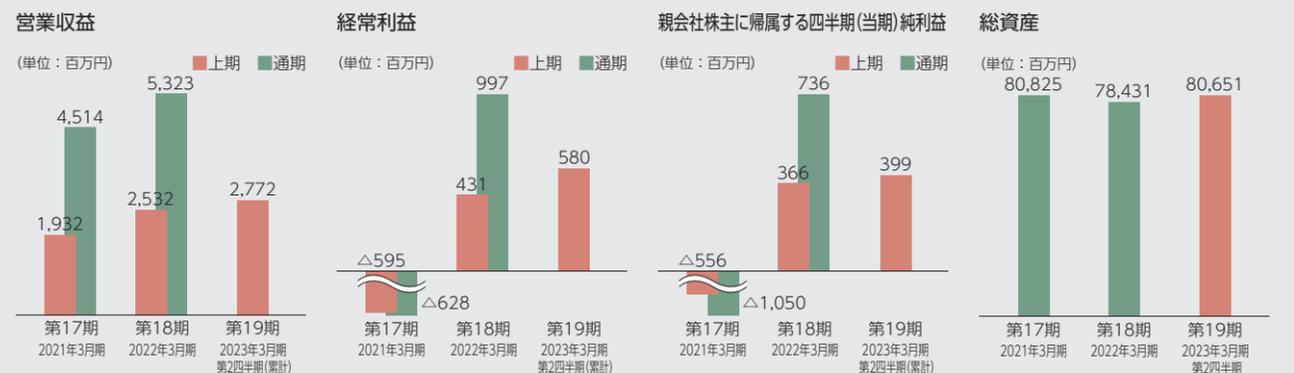


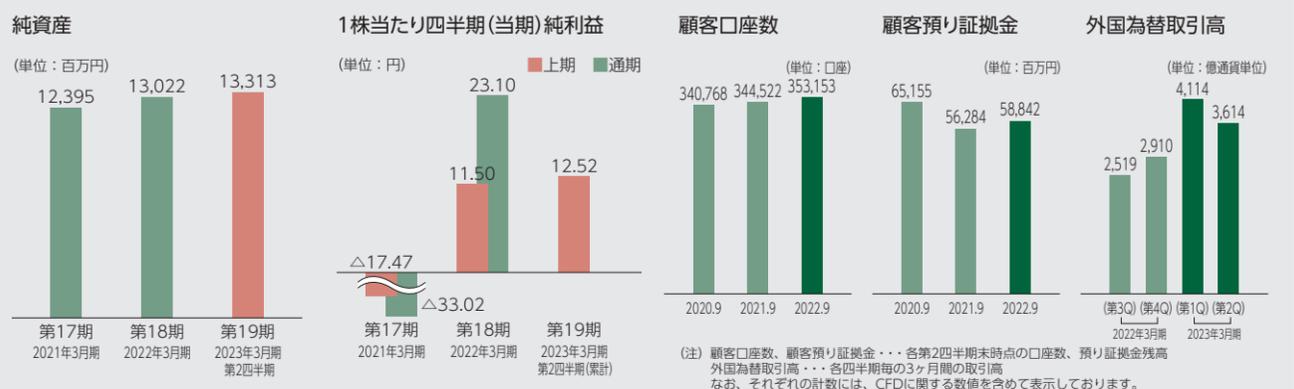
当第2四半期連結累計期間

■ 営業収益	2,772 百万円	(前年同期比 9.5%増 ↗)
■ 経常利益	580 百万円	(前年同期比 34.5%増 ↗)
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益	399 百万円	(前年同期比 8.9%増 ↗)

財務ハイライト



事業データ



(注) 顧客口座数、顧客預り証拠金・・・各第2四半期末時点の口座数、預り証拠金残高
外国為替取引高・・・各四半期の3ヶ月間の取引高
なお、それぞれの計数には、CFDに関する数値を含めて表示しております。

TOPICS

マネーパートナーズはスプレッド縮小施策を大幅強化
-FX業界初!! 「米ドル/円」をはじめ人気5通貨ペアにてスプレッド「0.0銭」を24時間提示! -

パートナーズFXnanoでは、昨年5月より「米ドル/円」スプレッド0.0銭の提示を開始しました。時間限定かつ「米ドル/円」の1通貨ペアのみを対象として始まったこの施策は、対象時間、対象通貨ペアを拡大。2022年5月16日よりFX業界初の試みとなる計5通貨ペアにて24時間スプレッド0.0銭を提示するスプレッド縮小施策にパワーアップしました。^{※1}

また、2022年3月からは17:00~26:00の流動性が高く取引量の多い時間帯をゴールデンマネパタイムとし、パートナーズFX、パートナーズFXnano、まいにち金・銀を対象に、業界最狭水準のスプレッド縮小キャンペーンを継続実施しております。

さらにパートナーズFXでは、9月14日より計2通貨ペアを対象としてゴールデンマネパタイムのスプレッド縮小時間を大幅に拡大。「米ドル/円」業界最狭水準スプレッド0.2銭を計16時間提示するなど、更なるスプレッド縮小施策の強化を継続しています。



10月24日より新たに4通貨ペアの取扱を開始

マネーパートナーズでは、10月24日より新たに4通貨ペアの取扱を開始いたしました。対象となるのは近年国際通貨としての注目の高まっている「人民元/円」、「米ドル/人民元」(パートナーズFXのみでの取扱)のほか、「イスラエルシェケル/円」、「ノルウェークロネ/円」となります。特に「イスラエルシェケル/円」のFX取引が可能な会社は日本国内では当社のみとなっております。^{※2}

これに伴い、マネーパートナーズでは新通貨ペアを対象とした業界最狭水準のスプレッド縮小、新通貨ペアをお取引いただいたお客様に取引高に応じたギフトのプレゼントなど、リリース記念キャンペーンを実施しております。



みんかぶFX会社比較ランキング「スプレッド部門」2022年第1位を獲得

積極的なスプレッド縮小施策の実施により、マネーパートナーズは株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが運営している、みんかぶFX会社比較ランキング「スプレッド部門」において、2022年の年間第1位を獲得いたしました。引き続きスプレッド縮小施策をはじめとした訴求を強化することでマネーパートナーズの認知を高め、より多くのお客様にお取引いただけるよう取り組んでまいります。



※1 当社所定の注文数量に限りです。
※2 一般社団法人金融先物取引業協会2022年6月末時点会員137社、特別参加者4社を調査

株式会社マネーパートナーズグループ
https://www.moneypartners-group.co.jp/
東京都港区六本木三丁目2番1号



Manepa Report

第19期 中間のご報告
(2022年4月1日~2022年9月30日)

特集
マネーパートナーズはスプレッド縮小施策を大幅強化
-FX業界初!! 「米ドル/円」をはじめ人気5通貨ペアにて
スプレッド「0.0銭」を24時間提示! -

10月24日より新たに4通貨ペアの取扱を開始

みんかぶFX会社比較ランキング
「スプレッド部門」2022年第1位を獲得

中間配当は3円75銭 下半期は当社の<得意技>で、 更なる顧客基盤の拡充を図る

株主の皆様には、平素より格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年3月期は、本業の不振および赤字連結子会社の事業撤退に伴う特別損失を計上し経常赤字となった前々期(2021年3月期)からV字回復を果たした前期(2022年3月期)に引き続き、「FXを軸とした店頭デリバティブ取引への選択と集中」を経営方針の第一に掲げております。特にパートナーズFXnanoにおいては「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の計5通貨ペアにて、株式会社マネーパートナーズの定める注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭(売買同値)を提示する業界初のキャンペーンを実施するなど、より多くのお客様が取引しやすい環境を一層整備してまいりました。当初「米ドル/円」から始まったスプレッド0.0銭(売買同値)は、今や計5通貨ペアでの展開と相成り、いわばマネーパートナーズ社の<得意技>ともなりました。このスプレッド0.0銭(売買同値)による差別化によって、今後も厳しい競争環境の中で既存のお客様に一層のご利用をいただくとともに、新たなお客様の獲得に繋げ、収益力の向上に努めてまいります。

では、どのように新たなお客様の心を掴むのか。これにはマネーパートナーズ社の<得意技>が重要なカギになると考えております。まずこの<得意技>をテコにして、ご興味があるものの投資対象としてのFX取引になかなか踏み切れない方々にもFX取引の醍醐味を味わっていただくたく存じます。FX取引では、いかに損切りを実行出来るか? が収益確保につながる重要な分岐点であります。そのため、かつてマネーパートナーズ社が先駆けとなって行い、今や国内業界で一般的となった手数料の無料化に今回の<得意技>を合わせることで、貴方ご自身の売り買いに依って生じた為替差損分以外は一切の手数料やマージンが掛らず、よりFX取引を身近に! 同時にためらうことなく損切が出来る! この理想的な環境を皆様にご体験いただくたく存じます。

また、コスト面に関しても、全社を挙げてのコスト削減や不採算事業の改善・見直しを推進しており、さらなる筋肉質な会社へ

と変貌を遂げるべく取組みを進めております。

以上の結果、2023年3月期中間期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の当社グループの連結業績は、営業収益2,772百万円(前年中間期比9.5%増加)、経常利益580百万円(同34.5%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益399百万円(同8.9%増加)となりました。

配当につきましては、2023年3月期中間配当を1株当たり3.75円(前中間期と同額)といたしました。

なお、当社グループの主力商品であるFX取引におきまして、10月24日より、新たに「人民元/円」、「米ドル/人民元」、「ノルウェークローネ/円」、「イスラエルシケル/円」の取扱を開始いたしました。かかる4通貨ペアは、変化の激しい国際情勢の中にあって大変注目度が高まっています。その中でも「イスラエルシケル/円」が取引できるのは、日本で唯一(*)当社だけあります。また、人民元については近年国際通貨としての注目が高まりつつある人気通貨であります。リリース記念のキャンペーンをはじめとした施策により、この新通貨ペアにおいても多くのお客様にお取引いただけるよう注力してまいります。

*一般社団法人金融先物取引業協会2022年6月末時点会員137社、特別参加者4社を調査

新型コロナウイルスによる影響やウクライナ情勢などにより金融市場の不確実性が高い状況が続いておりますが、激しい環境変化の中にあって収益機会を追求し、企業価値を向上させ、東証プライム市場の上場維持基準への適合に向けて引き続き尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、宜しく申し上げます。

株式会社マネーパートナーズグループ
代表取締役社長 **福島 秀治**

パートナーズFX

スリッページ・約定拒否のない「100%の約定力」*1で大きな数量で取引可能。株も駆使して投資効率アップ。パートナーズFXnanoに次ぐ業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを実施中。



17:00~26:00は業界最狭水準スプレッド
計18通貨ペアにてスプレッド縮小施策を実施

当社では17:00~26:00の市場の流動性が高い時間帯をゴールデンマネパタイムと呼称し、各商品にて業界最狭水準のスプレッド縮小キャンペーンを行っております。

現在、パートナーズFXでは「豪ドル/円」をはじめとする計18通貨ペアにてスプレッド縮小を行っているほか、「米ドル/円」、「メキシコペソ/円」に関しては、スプレッド縮小時間を最大で計16時間(米ドル/円の場合)に大幅拡大するといったキャンペーンを継続実施しております。*2



選べる2つのFX



主力サービスであるFXを軸とした

「店頭デリバティブ取引」へ 経営資源集中

選べる2つのCFD



パートナーズFX nano

本格的なFXを少額(最低取引単位100通貨)から取引可能。多くの通貨で業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを実施中。



FX業界初!! 「米ドル/円」をはじめ人気5通貨ペアにて
スプレッド「0.0銭」を24時間提示!



17:00~26:00は業界最狭水準スプレッド
「米ドル/円」をはじめ計19通貨ペアにてスプレッド縮小施策を実施



まいにち金・銀
(商品CFD取引)

まいにち暗号資産
(暗号資産CFD取引)

*1 PCからのPFXストリーミング注文は当社独自の非スリッページ仕様となっているため、スリッページ・約定拒否ともに発生いたしません。
*2 主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。メンテナンス時間は適用時間に含まれません。